

☆スクリーン印刷における基礎知識、不良対策、  
具体的な応用例や実践方法などわかりやすく解説！

1名分料金で  
2人目無料

# 高品質スクリーン印刷の基礎とプロセス適正化

- ◆日時:2018年10月31日(水) 10:30~15:30
- ◆会場:商工情報センター 9F 第2研修室
- ◆聴講料:1名につき49,980円(税込、昼食・資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

- ・1名でお申込みされた場合、1名につき**47,250円**
- ・2名同時でお申し込みされた場合、**2人目は無料(2名で49,980円)**

※大学生、教員のご参加は、1名につき受講料10,800円です。

(ただし、企業に籍者は除きます。また、2人目無料も適用外です。)

## セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

### 第1部 高品位・高精細印刷を実現するスクリーンインキと機能性インキの紹介

●講師:帝国インキ製造株式会社 研究所 研究員 吉田 旦人 氏

10:30~12:00

当セミナーでは加飾用スクリーン印刷についての基礎的な内容と実用例についてお話しします。前半は他の印刷方式との比較やスクリーン印刷の特徴についての内容や、スクリーン印刷を行う上での基礎知識に関して紹介します。後半はスクリーン印刷にて実現できる加飾技術や機能性の付与に関して、機能性インキの実用例を含めて紹介します。

1. はじめに 1-1 各種印刷の種類とインキの粘度 1-2 スクリーン印刷の特徴 1-3 スクリーン印刷の資機材 1-4 スクリーン印刷のポイント	2-2 スクリーン印刷インキの組成 2-3 スクリーン印刷インキの製造工程 2-4 スクリーン印刷インキのポイント	3-4 特殊インキの応用事例 4. スクリーン印刷インキによる機能性の付与 4-1 IR透過インキ 4-2 耐擦性インキ 4-3 自己修復インキ 4-4 その他機能性インキ	5-1 高精細インキの特徴 5-2 高精細インキの便益 5-3 高精細インキの加飾事例 5-4 高精細インキによる品質安定化
2. 加飾用スクリーン印刷インキ 2-1 スクリーン印刷インキの種類	3. スクリーン印刷インキの特徴と応用事例 3-1 成形用インキによる三次元加飾技術 3-2 メタリックインキによる金属調加飾技術 3-3 透過インキによる隠し印刷技術	5. 高精細インキシステム	

【質疑応答・名刺交換】

### 第2部 高品質スクリーン印刷実現のためのミノグループ「標準」の提案

~「適正印圧」設定方法と「版離れ角度」制御による「版離れ力」向上策~

●講師:株式会社ミノグループ 機械事業部 総合印刷技術課 主任 廣木 将人 氏

12:40~14:10

本講演では、ミノグループの考える印刷諸条件の「標準」の紹介と、様々な印刷条件変更による印刷結果の変化を、実際の印刷データをもとにご紹介いたします。さらに、昨年来、弊社内において実施してきた、「版離れ力」を1.5倍に改善できる「版離れ角度」維持装置での具体的な検証データを示し、高品質スクリーン印刷プロセスがさらに容易に実現できるようになったことを紹介します。

1. 高品質スクリーン印刷プロセスの実現のために 1-1 スキージ品質の適正化と「標準」 1-2 スキージ印圧と印刷膜厚の相関及び適正印圧の設定方法 1-3 メッシュ強度と適正テンション、クリアランスの「標準」	3-1 スクリーンメッシュと印刷膜厚 3-2 スキージ速度と印刷膜厚 3-3 インキ粘度と印刷膜厚	5. 版離れ角度の「版離れ力」への影響 5-1 版離れの遅れの原因は、版離れ角度の変化 5-2 ピールオフ機構での実クリアランスと版離れ角度の変化 5-3 版離れ角度と「版離れ力」
2. インキの印刷性能の把握 2-1 分散安定性 2-2 溶剤揮発性 2-3 インキの粘度	4. 溶剤型インキにおける印刷膜厚と色濃度の相関 4-1 遅延溶剤型インキの膜厚変化と色濃度・ $\Delta E$ の相関 4-2 溶剤揮発性の違いによる印刷膜厚の変化 4-3 遅延溶剤型インキの膜厚変化と色濃度・ $\Delta E$ の相関 4-4 インキの溶剤揮発性と印刷解像性	6. 高精細加飾印刷の紹介 6-1 グラデーションパターン 6-2 スピンパターン

【質疑応答・名刺交換】

### 第3部 ステンレスメッシュとスクリーン印刷技術

●講師:アサダメッシュ株式会社 営業技術部 広報室 室長 諸富 康宏 氏

14:30~15:30

ステンレスメッシュを使用したスクリーン印刷は、エレクトロニクス業界で半世紀以上に亘り採用されている。しかし、その印刷要求はインキの印刷厚みを例にとると数マイクロン~数百マイクロンと幅広く、寸法ではフォトリソ法に迫る高い位置精度も求められるに至っている。最新のステンレスメッシュを使用することで、従来のメッシュでは不可能と考えられてきた次世代レベルのスクリーン印刷が実現可能になるときさまざまな分野で期待されている。

1. 高精細ステンレスメッシュの歴史と主な用途 1-1 スクリーン印刷のメカニズム 1-2 エレクトロニクス業界における発展の歴史	2-2 四つの印刷方式とスクリーン印刷特有のメカニズム 3. スクリーンメッシュの四つの役割とは 3-1 印刷形状の保持 3-2 テンションの付与 3-3 塗布量コントロール	3-4 解像性の決定 4. 最先端の高品質スクリーン印刷事例 4-1 スクリーン印刷の様々なアプリケーション紹介
2. ステンレスメッシュの製造工程とスクリーン印刷の基礎 2-1 高精細ステンレスメッシュの製造工程		

【質疑応答・名刺交換】

## 『スクリーン印刷』セミナー申込書 FAX:03-5857-4812

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

### ● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、弊社へFAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたしまして受講券、請求書、会場の地図をお送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。  
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。  
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール  郵送